

































### SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

		作成日：令和4年1月18日										企業・団体名：井上石灰工業株式会社												
カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		採用・教育・昇進・登用・福利厚生など、あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。						4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		ハラスメントを禁止する旨を就業規則の第4章の服務規律に明記している。							5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		男性育休として平日4日の取得を特別休暇として制度化し利用促進している。有給についても半日単位での取得を可能にし、取得促進。在宅勤務に関しても新たに規定を制定し、コロナ対応に限らず、育児や介護との両立支援策として運用していく方針。										8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		2020年11月にマレーシア国籍(配偶者ビザ適用中)の男性を国際事業Gにて中途採用。日本語コミュニケーションも問題なく、海外営業部門にて活躍中。管理本部にて定期的にヒアリングを実施し、何でも相談できる体制を整備している。						4.4				8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		社内でのOFF-JTや、高知ポリテクセンターにて工場現場社員全員参加によるKYT研修を継続実施中。全社員の5S意識のレベルアップにつながっている。			3								8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		管理本部主導による、全社員面接を1~2回/年程度実施中。管理本部として中立的な立場で、各現場の声を拾い上げるようにしている。従業員数からの実施義務はないが、自主的に3年に一度の全社員を対象としたストレスチェックを制度化している。			3																
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		2021年4月に女性管理職(マネージャー)2名を登用(当社では初)2020年11月にマレーシア国籍(配偶者ビザ利用中)の男性1名を国際事業部にて中途採用。65歳以上の就労継続希望者に対して、積極的に継続雇用中。						5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		研修体制の整備や必要経費の負担及び自己啓発による資格合格時の報奨金支給制度等により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。適切なマネジメントを実施できる管理職を育成すべく、研修・OJTを随時実施している。				4	5.5					8									
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し従業員(正社員・アルバイト等)の公正な待遇を行っている。						5.5				8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる	●		人間ドック、インフルエンザ予防接種等の経費補助を行っている。健康経営優良法人(経済産業省)、ユースエール(厚生省)及び高知県ワークライフバランス3部門(次世代育成支援部門、年休取得促進部門、健康経営部門)の認定を取得している。現場職、事務職など、各事業所・職種にかかわらず、全社的な労働時間の短縮と統一にむけて、中期経営計画に盛り込み改善を図っている。			3							8									
11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している	●		在宅勤務を導入(規定も整備済み)し、コロナ対応に限らず、働き方改革の一環として育児や介護との両立支援にも活用できる体制を構築している。社内事業所間も含め、ウェブ会議を積極的に導入している。対面での打ち合わせでは、喚起を徹底し、マスクの着用を義務付けている。			3							8	9.1		11	12						
12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●		インターネット環境の整備を図るべく、ネットワークインフラの整備を進め、各事業所の無線LAN化を完了。グループウェアの導入によるデジタル化促進を図るとともに、情報セキュリティ面での整備も進めており、職員のITリテラシーレベルの改善状況も随時チェックしている。										8	9.1		11	12						
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		廃棄物の適切な分別・保管、適正な処理を実施している。再利用可能な製品廃棄物を他の製品原料として使用している。													11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		四電コンシェルジュによる電気量の使用状況のチェックを随時実施。自家消費費用に太陽光発電システムを設置し、余剰電力は売電中。工場内の照明のLED化を促進し、節電効果を確認。製品出荷時の配送単位をまとめるなどの物流方法の見直しによりエネルギー削減を考慮している。効率を考えた出張計画の作成。出張時の公共交通機関の利用推奨。レンタカー使用時はハイブリット車使用を推奨する。								7.3						13					
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		高知県協働の森事業(間伐)に参画し、CO2吸収証書により貢献度を確認。クールビズ、ウオーミングビズに取り組むとともに、外気温を勘案した適切な温度設定を励行中。									7.2 7.3				12.4	13.3					
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		法令等で規制される化学物質について管理基準を定め、製造工程内における意図した使用を制限している。			3.9			6.3							11	12.4					

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
公正な事業慣行	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		環境関連法令を順守するとともに、環境への負荷を最小化することで生物多様性・生態系の保全に貢献している。						6.6									15		
	18	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		ペーパーレス化やコピー時の裏紙再利用を促進している。 顧客の状況に合わせて製品の納品方法を変更することで、顧客での廃棄物削減につなげている。											12.5		14.1				
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる	●		高知県協働の森事業（間伐）に参画し、CO2吸収証書により貢献度を確認。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる	●		高知県協働の森事業（間伐）に参画し、CO2吸収証書により貢献度を確認。					6.4 6.6												
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している	●		ISO 14001の認証を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	●		高知県協働の森事業（間伐）に参画し、活動内容をホームページに掲載している。												12					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる	●		BCP対策の観点も含め、太陽光発電システム及び蓄電池を設置し、再生可能エネルギーを利用している。また、太陽光発電システム自立発電時専用の緊急電源用コンセントも設置している。						7.2							13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	●		仁井田ブランドでは地下水の利用をしている。												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる	●		畜産部門においてミートマトの規格外品の有効活用策として、地元の有名シェフとコラボで付加価値の高い加工品の開発に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		汚職贈収賄禁止等を含む服務規律を就業規則内で整備し、社内浸透を図っている。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		会社として公正な取引に努め、全職員に対し、その重要性を発信している。 仕入れ先に対し、不当な値引きがないかチェックしている。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		特許、商標等知的財産権の取得・管理をしている。 開発G・管理G等関連部署における、研修やセミナー参加を励行している。							8.2 8.3	9									
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		入社時の誓約書および、就業規則の服務規律に明記の上、退職後対応を含め、社内に徹底している。 システム面でも情報管理（情報漏洩の防止）に関する規定を制定し、社内に周知徹底している。																	16
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	●		自社製品の原材料のサプライチェーンを把握し、危機管理に備えている。																	16
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		県版HACCPの認証を取得し、製品の安全性維持に努めている。			3.9								12.4						
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		ISO 9001の認証を取得し、製品の品質向上に努めている。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		ライフサイクルを考慮した製品の開発を推進している。 顧客において品質改善につながる自社製品の販売を行っている。						6					12	13	14	15			

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・ 蛍が丘オフィスの社屋での木材の利用。						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる			・ 新種トマトの栽培や、ワイン用ブドウの栽培を通じて耕作放棄地対策に貢献。JICAの普及実証事業に採択され、ベトナムにおける安心安全な営農システムを用いた安全性の高い農産物生産技術の普及に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
社会 貢献 ・ 地域 貢献	37	【地域への配慮】 ・自事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している		●	・ 地元の小学校や高校からの企業研究や、工場見学に積極的に対応し、高知の代表的な企業の1社として、適切な情報発信に努めている。				4					9		11	12		14	15		17		
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる			・ 各事業所毎月1回周辺の清掃を継続実施中。地元小学校の工場見学や、参観日の外部講師依頼等に積極的に取組中。地元高校生や大学生の企業見学にも積極的に対応中。協働の森事業(間伐事業)に継続支援中(井上石灰135周年絆の森事業)。土佐神社の改修事業へ寄付。地元のプロスポーツチームに継続的に協賛している。				4							11			14	15		17		
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・ 高知県産の良質な石灰岩を原料に、伝統的な焼成方法(塩化揮発法)を承継し、地産地消、地産外商を推進している。								8	9		11	12							
組織 体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している		●	・ 入社時の誓約書および、就業規則の服務規律に明記の上、退職後対応含め、社内に徹底している。システム面でも情報管理(情報漏洩の防止)に関する規定を制定し、社内に周知徹底している。コンプライアンス委員会を社内に設置し、相互牽制体制を整えている。加盟している農業工業会の規定を遵守しながら販売活動を行っている。																	16		
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している		●	・ 経営理念・基本方針・行動指針を明文化の上社内手帳に記載、毎週月曜日の朝礼にて読み合わせを実施し(ほぼ全社員が暗唱している)、輪番制で実践報告を継続実施している。経営者は、中期経営計画や年度計画において、都度会社のあるべき姿を周知徹底し、共有している。								8	9								17		
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している		●	・ 各部門や専門部署における担当者・責任者を任命している。																		16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者(ステークホルダー) ※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)		●	・ 民家と隣接している仁井田工場において、毎年1回定期的なアンケートを実施のうえ、騒音・異臭等について近隣住民の声(特に苦情)を大事にし、常に双方へのコミュニケーションに努めている。取引先とのコミュニケーションにより取引先の最新のニーズ把握と対応に努めている。																		16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・ 就業規則の服務規律として明文化し、周知徹底している。新入社員研修時には、社会人としてのコンプライアンス教育を組み入れている。コンプライアンス委員会を設置し、相互牽制体制を整備している。																		16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・ 事業継続計画(BCP)を策定し、活動拠点の移転など想定されるリスクの低減に努めている。製造工程で使用する化学物質について、作業環境に関するリスクアセスメントを推進し、評価結果に基づきリスクの低減に努めている。																		16	
	46	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・ 【予定】SDGs取組に含めて、1年以内に宣言・方針の策定を行い、HP上で取組について公表予定。																		16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画(BCP)を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント(BCM)にも取り組んでいる		●	・ 南海トラフ地震に備えてBCPを策定し、年に1回の訓練を実施している。韓国輸出分について、現地JV立ち上げにより、韓国現地生産対応を行っている。6年前に本社機能を有する社屋を海拔40mで岩盤の強固な南国オフィスパークに新築移転。備蓄倉庫も備え、BCP対策に対応している。										9		11			13			16	
48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・ 【予定】円滑な事業承継に向け、取引先金融機関等に相談しながら、検討を進めていく予定。									8	9									17	
持続 可能 な 社会 ・ 地方 創生	49	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている		●	・ 毎年11月の全国気象庁避難訓練に合わせて、訓練を実施している。各事業所において、飲料水を備蓄し使用期限管理もしている。ハザードマップをふまえた災害に対する火災保険(含む地震保険)に加入している。				4							11.5		13.1			16			
	50	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・ 各事業所にAEDを設置している。【予定】蛍が丘オフィスにて1年以内に近隣消防署と連携し防火訓練を実施予定。	1		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	

カテゴリー	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
SDG 1	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている			2021年6月24日に高知県SDGs推進アドバイザーによる役員、部長クラス参加によるセミナーを開催し、会社全体としてSDGsを意識した取組を推進していくことを確認。 2021年中に中間管理職及び中堅社員より人選したうえでSDGs推進チームを新設し1年以内に宣言項目を決定し、こうちSDGs登録制度への登録を目指す。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、Uターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している			高知県移住促進・人材確保センターを通じ、都市部などからのUターンの中途採用を積極的に行っている。 ● 地元の学生を積極的に採用している。 学生や社会人を対象にした就職関連イベント等に積極的に参加し、優秀な人材の確保に取り組んでいる。				4.4				8.5	8.6								17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している			● ワイン用のブドウづくりを通して、中山間地域の耕作放棄地対策および、観光振興へのきっかけとなる取組に寄与している。								8	9		11						